

第二回スポーツマネージメント人材育成セミナー

(スポーツ庁支援事業)

つなぎ、ささえあい、共に創る、 市民が関わる仙台・宮城のスポーツ

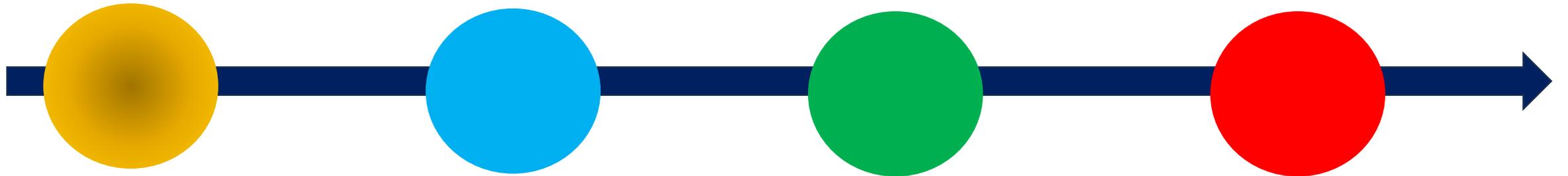


2026年2月13日(金)

スポーツボランティア・ケアサポーター / スポーツ・ラボ仙台理事 泉田 和雄

簡単な自己紹介

泉田 和雄 = いずみた かずお
仙台市在住 スポボラ歴約28年



1998年サッカー
ベガルタ仙台
ボランティア

サッカー
ワールドカップ
2002年

市民
スポーツボランティア
SV2004

スポーツ・ラボ仙台
理事

スポーツボランティアケアサポーター

自己紹介と私たちの組織について

- 1998年 ベガルタ仙台(当時ブランメル仙台)
- 2001年 宮城国体・障害者体育大会
- 2002年 サッカーワールドカップ 宮城
- 2003年 グランディ・21ボランティア発足
- 2004年 市民スポーツボランティアSV2004発足**
- 2005年 楽天イーグルスボランティア発足
- 2005年 仙台89ERSボランティア発足
- 2012年 仙台国際ハーフマラソン一般ボランティア
- 2013年 ねんりんピックボランティア
- 2014年 スポーツコミッションせんだい発足
- 2019年 スポーツボランティアステーション発足
- 2021年 マイナビ仙台レディースボランティア発足
- 2021年 リガーレ仙台ボランティア発足
- 2021年 カメイアリーナボランティア発足
- 2021年 FUN-TEボランティア発足
- 2021年 東京オリパラ2020大会 宮城



サッカーワールドカップの後
市民有志で幅広いスポーツの
サポートのため、ボランティア
組織が発足
それが
市民スポーツボランティア
SV2004

自己紹介と私たちの組織について



一般会員 年会費 1,000円
サポート会員 個人年会費 2,000円
法人年会費 10,000円
準会員(学生) 無料

代表理事

監査

理事

会員

理事会 年4回程度

事業や活動の確認、計画や予算執行の確認
理事は、会計や会員管理、各班のまとめを分担

定例会 年2回程度

事業や活動の確認、計画の確認

年次総会 年1回

活動及び予算報告・活動計画と収支計画

会員はSV以外、多くのプロスポーツなどに登録し活動
合わせてSVの各班の活動にも任意で参加し活動

私たちの目標

市民スポーツボランティアSV2004

- 私たちはスポーツボランティア活動は「楽しく」あるべきだと思います。
- そのために、ボランティアと運営組織、ボランティア同士のコミュニケーションを大切にします。
- おもいを共にする人々とのネットワークを大切にします。
- 活動するボランティア環境の改善、そして、エコ活動にも取り組みます。
- サポートするイベントが継続し、より良いものになるようにサポートします。
- スポーツボランティアが多くの人に理解され知っていただけるように活動します。

目的と活動

①

スポーツのネットワークを通じて
依頼される活動の支援

プロスポーツ
仙台国際ハーフマラソン
ラグビー日本代表戦 など

救命救急研修
感染症予防研修
防災とスポーツ研修 など

目的と活動

②

ボランティアのレベルアップ
のための活動を企画運営

目的と活動

③

活動する環境をより良いものに
快適なものにする活動

エコ活動
パラスポーツ活動
人財育成の取組 など

東北スポーツボランティアサミット
スポボラサプリ
仙台スポーツサポーターズネット
など

目的と活動

④

同じ活動をする仲間との交流を
楽しみ、ネットワークを広げます

目的と活動

⑤

記録し残すための活動
→ いつか誰かの役に立つ

スポーツボランティア
ハンドブック
SVニュースレター など



本日お伝えしたいこと

人と経験がレガシー
～つなぎ、共に創る
ボランティアを知り、創る

スポーツへの市民参加
の可能性
継続と運営の考え方

本日お伝えしたいこと



人と経験がレガシー
～つなぎ、共に創る
ボランティアを知り、創る

スポーツへの市民参加
の可能性
継続と運営の考え方

仙台・宮城のスポーツボランティア

プロスポーツ

2005年

楽天イーグルス

楽天イーグルス・マイチーム協議会

1998年

ベガルタ仙台

ベガルタ仙台ホームタウン協議会

2005年

仙台89ERS

仙台89ERSホームタウン協議会

マイナビ仙台

2021年 レディース

マイナビ仙台レディースホームタウン協議会

2021年

リガーレ仙台

コーディネート組織

2019年

せんだい
スポーツ
ボランティア
ステーション

2004年

市民スポーツ
ボランティア
SV2004

スポーツコミッションせんだい

施設型

2021年

カメイアリーナ
ボランティア

2003年

クランディ・21
ボランティア

2021年

FUN-TE
ボランティア

2014年

大きかった2001年国体と2002年サッカーワールドカップ

せんだいスポーツ
ボランティア
ステーションの
主な事業

- 各種イベントでのボランティア募集
- 中高生スポーツボランティア育成講座
- スポーツボランティアマッチング
- 研修会の開催
- 感染症予防支援

単発イベントでも多くのボランティアが活動しています

つなぎ、共に創る

きっかけは
2001年のベガルタ仙台
のJ1昇格による
観客増加

捨てられるゴミが増えた!

2005年

エコプロジェクト(仙台方式)の誕生
分けて、出来る限りリサイクル・活用へ



プロ野球 楽天イーグルス サッカー ベガルタ仙台 バスケット 仙台89ERS
全て同じ分別方法で、紙コップはトイレトペーパーへ、割りばしはA4コピー用紙等に再生

つなぎ、共に創る

ボランティアが増えない!

2008年

スポーツボランティア入門講座の開催
2013年から「スポーツボランティア・マッチング」

2012年から仙台国際ハーフマラソン大会



市民ボランティアの募集

アンケートでの継続確認

既存ボランティア組織とのマッチング

ボランティア人口の拡大



大切な仲間の「楽しい」を守る

仙台国際ハーフマラソンの事例



2012年から開催、5月新緑の仙台を1.3万人のランナーが走る

(1)
事前
打合せ

(2)
募集

(3)
準備

(4)
活動

(5)
報告

ボラ活動の
運営を共に
行うことで
常に改善が
進みます

つなぎ、共に創る

子どもたちから笑顔が消えた！

2011年 東日本大震災

5月2日 緊急ボラサミット宣言 スポーツで笑顔を未来へ

**スポーツで
笑顔を未来へ**

東北スポーツボランティアサミット宣言

私たちはこの度の東日本大震災からの復興に向け、スポーツを通じてたくさんの笑顔が取り戻せるよう、協力して活動することを宣言します。

3つの活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。

2011年5月2日
東北スポーツボランティアサミット参加者一同

主催：グランディ・21ボランティア
共催：市民スポーツボランティアSV2004
後援：仙台プロスポーツネット
宮城県総合運動公園

活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
 - (1) 子供を対象にしたスポーツを楽しむ活動支援
 - (2) スポーツ組織と連携した子供向けイベントの開催
 - (3) 子供達へのスポーツ用具の寄贈支援
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
 - (1) スポーツネットワークによる復興ボラの支援
 - (2) 復興支援のための募金活動の支援
 - (3) スポーツを通じた楽しむ場の提供
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。
 - (1) 震災により継続が困難なスポーツチームの支援
 - (2) 被災地でのチャリティイベントの開催
 - (3) 被災地のスポーツに関する情報発信

活動体制

- ※ 被災地である岩手・福島・宮城のメンバーにて事務局を構成します
- ※ 当面、1年を期間としてSV-MLを通じて情報・協力の発信を行います
- ※ SV2004のホームページにて、活動に関する情報進捗・結果報告を行います。

- 仙台89ERS 存続書名活動
- プロ野球 オールスターゲーム
- JOC ミニオリンピック
- 南三陸福幸商店街 スポーツフラッグ
- 釜石ラグビーワールドカップの応援

つなぎ、共に創る

ボランティアの高齢化！

2014年

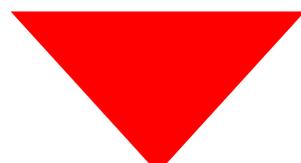
次世代の育成取組
文科省と連携した中高生スポーツボランティア育成講座



つなぎ、共に創る

とりまく環境変化に対応して！

2017年



仙台スポーツサポーターズネットワーク
スポーツをつうじた異業種交流会

プロスポーツ、パラスポーツ、
行政、学校、企業、ボランティア
スポーツ施設、まちづくり団体
など多様な人と組織が参加
毎月例会を開催

2019年



2022年



2025年



つなぎ、共に創る

2020年 新型コロナ

すべてが止まり、先が見えないとき

= モチベーション・コミュニケーション・体力低下が課題となった

体力と
コミュニ
ケーション
を高める



得意な
ことをいか
そう



活動の
場をつくろう



いち早く感染予防研修会開催

つなぎ、共に創る

何故、**スポーツ**のボランティア活動としての市民の参加が広がり、活発に活動できているのか。

プロスポーツの官民支援組織にボランティアも参加し、提案し実行できる
スポーツコミッションさんだいによる**スポーツ**ボランティア育成・支援

スポーツボランティア組織同士の横のつながりが強い

誰かではなく、共に改善に取り組む協力関係がある

市民(ボランティア)にとっては、行政のバックアップは心強く大きい

意見・情報交換の機会が多くあり
課題解決や前向きな取組がしやすい環境

つなぎ、共に創る

市民(ボランティア)との関係・組織作りで大切にしたいこと

- 市民連携の目的や、そのため共に行う活動を明確し、
ぜひ明文化して下さい
 - ・ 結果人が変わっても、めざすものややるべきことは守られます
- 時代の変化に合わせ、一緒に半歩先のやりがいや
たのしさを共に考え作ってください
 - ・ 守るべきものと、変えていくものの共有が大切です

3分ワーク

「市民(ボランティア)が参加することで、
改善が期待できる
スポーツ・地域課題は何ですか？」

ここから、手元のワークシートに
書き出してみてください。

本日お伝えしたいこと



人と経験がレガシー
～つなぎ、共に創る
ボランティアを知り、作る

スポーツへの市民参加
の可能性
継続と運営の考え方

スポーツへの市民参加の可能性

これまでのかかわり方

地域とのつながりによる活動

各種スポーツ協会、スポーツ推進委員、部活やスポ少での指導
スポーツ大会への送迎など地域貢献的な活動や動員型の活動

スポーツイベントでの活動

国体や大規模な国際スポーツイベント、プロスポーツのサポート、
増加するマラソン大会など、自ら参加する形の活動



スポーツへの市民参加のいま

人のつながりが減って孤立
自分の居場所がほしい

震災による災害ボラ

ラグビワールドカップや
東京オリパラ

新型コロナによる
人のつながり減

自ら関わることで
居場所
自分の役割
コミュニケーション
の機会をつくる時代
→ サードプレイス

スポーツへの市民参加の可能性

参加分野は変わる

背景にはさまざまな要因による
楽しさや価値観の変化

段階的に市民参加は増加

大規模国際スポーツイベント

マラソン大会の全国的増加

地域密着のプロスポーツ
(Jリーグ等・第一期)

スポーツ指導者・大会のサポート
・保護者のサポートなど

コロナの影響・オリパラの経験

多様で創る
市民参加が増加

スポーツでの課題解決

専門性を
いかした活動

パラスポーツ

第二期プロ化
ラグビー・バレーボール

部活動や公共空間

(スポーツ)
市民参加は
地域・まちづくりに
不可欠なものとなる

スポーツへの市民参加のいま

今、なぜスポーツボランティアが注目されるのか

まちのゆたかさは、活動する市民の多さ
= コミュニティを創る

活動に参加する入口が多いこと、
そして地域課題解決につながること

種目や、組織、既存のさまざまな壁を越え、
つなぎ、変える可能性

NPO型

目的をきめて
自分たちで創る

市民参加で
地域を盛り上げる

行政型

主催者型

イベント主催者が募集し運営
マラソンやプロスポーツに多い

移動型

大会やイベントを
選び参加活動します
特定の地域に特化
せず、自由に活動する
個人が多いようです

スポーツへのかかわり方のかたち

いろいろだから
きっと楽しい

市民型

ゆるく自由に
つながり活動

スキル型

特技を生かして
活動に参加

まちづくり型

スポーツで地域の課題
を改善・解決

NPO型

スポーツを応援する「かたち」
うつくしまスポーツルーターズ

福島県で、スポーツボランティアの普及・育成を担うNPO法人です。
主な活動

- 福島県内のスポーツイベントにおけるスポーツボランティアの活動の場を情報提供する。
- スポーツボランティアの普及、育成のための研修、研究等を行う。
- 全国的、世界的なスポーツイベントにも福島県のスポーツボランティアが参加できるよう道をつくる。
- 会員相互および全国のスポーツボランティアとの交流等を通じて、仲間づくり、生きがいづくりの場を提供する。
- 活動を通じて、福島の復興に寄与する。

平成16年9月に福島県で開催された『日本スポーツマスタース2004福島大会』のスポーツボランティアが核となり、従来の「するスポーツ」「みるスポーツ」に加え「ささえるスポーツ」という新しいスポーツ文化の形を福島県から発信しようと始めました。

公式ホームページより

<https://rooters.jp/>

スポーツを応援する「かたち」 町田

まちだサポーターズ（通称：まちサポ）は、「スポーツ祭東京2013」の町田市開催の運営ボランティア公募をきっかけに誕生した市民ボランティアです。

（町田市ホームページより）

<https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/sport/supporter/2018supporter.html>



きっかけはスポーツ

行政の
サポート

文化・安心安全
スポーツなど
多様な地域活動に拡大



町田さくらまつりの活動

行政型

市民型



官民協働パトロールの活動



町田ゼルビアの活動



ASVペスカドーラ町田の活動

PESCADORA
MACHIDA

スポーツを応援する「かたち」 スポーツボランティア関西



一般社団法人
スポーツボランティア関西
笑顔が未来を創る

主に関西を中心に活動しているスポーツボランティア組織、**スポーツに関連する資格取得を通じて、審判としての活動や、競技運営にも取り組むとともに、**地域の行政と連携し、パラスポーツ振興にも取り組んでいます。

スポーツボランティア

一般社団法人

<https://svkansai.com/>

行政や
企業連携

審判など運営に協力
スポーツ推進委員
総合型スポーツクラブ
パラスポーツ振興など

事業内容

- ◇トップスポーツサポート提携事業
- ◇スポーツボランティア運営・派遣事業
- ◇地域総合型スポーツクラブ
- ◇地域スポーツイベントコンサルティング
- ◇スポーツ活動拠点の運営
(企業の社会貢献活動事業・社員ボランティア活動支援サポート・社会復帰支援事業)
- ◇マスコットキャラクター派遣事業

Do Sports Fes



市民型

まちづくり型

スポーツボランティア情報の収集・発信と、既存スポーツボランティア団体や、今後活動を希望する人への支援を通じて、スポーツコミッションせんだいのミッションである「スポーツを支える力の強化」を実現し、市民協働によりスポーツボランティアの基幹組織としての役割を担います。

- スポーツで元気なまち仙台へ
- 市民がスポーツを気軽に楽しめるまちへ
- 仙台をスポーツボランティア日本一のまちへ
(公式ホームページより)

スポーツを応援する「かたち」 <https://sendai-volu-station.com/> せんだいスポーツボランティア・ステーション

スポーツボランティア・マッチングの開催



スポーツコミッションがボランティア組織を運営しているのは、仙台のほかに札幌や静岡などがあります。

中高生スポーツボランティア育成講座の開催



行政型

官設官営

せんだいスポーツ ボランティアステーション
Sendai Sports Volunteer Station

スポーツをつなぐ多様な
ボランティアサポートの取組
(人財育成・大会支援・活動支援など)

スポーツへの市民参加の可能性

参加動機の変化

コロナ前

こんなことをしてほしい

コロナ後

こんなことが実現できる

変わらないもの > 仲間作り・出会い・交流／成長の場

スポーツへの市民参加の可能性

スポーツと 市民との関係

これまで > ささえる

- 主な活動 イベントのサポート
- 位置づけ 多くは上下関係
→ 一部は委託型
- 運営 → 主催者からの指示

ここから > ささえあう

- 主な活動 共に活動を創る
- 位置づけ 対等・並列の関係
→ 目標達成のための仲間
- 運営 → 市民活動として自立

組織継続の為、大事な仲間という位置づけと、ケアの仕組作り

スポーツへの市民参加の可能性

ボランティア
ケアサポーター
(略称 ケアサポ)

コミュニケーター(語りかける)

誰にでも声をかけ、笑顔にする力

レポーター(聞き取り・記録し発信)

聞いたことを整理し、活用すること

バディ (ともによりそう)

何より相手と通じ合い信頼されること

3分ワーク

「課題解決のため市民が参加しやすくするために何が大切ですか」

「その取組・協力関係を発展させ、継続させるために大切なことは何ですか」

ここから、手元のワークシートに書き出してみてください。

スポーツへの市民参加の可能性

組織を継続させ発展させる ⇒ ささえあう気持ち

- 感謝の気持ちを伝える = 言葉にする
- 声をしっかり聞き取り活用する = 認める
- 成長のためのサポートをする = 応援する
- 関わる人たちの交流の場を作る = 交わる
- 信頼関係のため共に活動する姿勢 = 共に

スポーツへの市民参加の可能性

地域とつながる活動

多様なサポートの形

イベント運営
サポート

日常的な
サポート

スポーツプラス
サポート



多彩な活動

**参加する市民の
数だけの可能性**

- ・スキルを活用
- ・地域とつなぐ
- ・在宅でもできる事
- ・社会課題解決

**スポーツへの市民参加は
活動の入り口、多様な
つながりのきっかけです**

地域課題

観光

福祉

環境

災害

部活動

etc

社会的な課題解決にも発展

スポーツへの市民参加の可能性



エコ活動
きれいな会場を作り
おもてなし

ゴミの分別から
リサイクルを通じた
社会貢献に発展

環境



病院ビューイング
孤立と不安を緩和
するおもてなし

入院患者・病院の
スタッフとともに
地元チームを応援

福祉



センサリールーム
ちがいを認め
おもてなし

観戦機会の少なかつた
発達障害の子供と
ご家族に機会を提供
>施設常設化に

福祉



スポーツ施設見学
来場者を笑顔にする
おもてなし

カメイアリーナ仙台
にて実施し、次々に
もてなしの企画が誕生

観光

スポーツへの市民参加の可能性

最後に

スポーツは「目的」ではなく「手段」

スポーツを通じて「楽しむ」ことが

「地域」や「人」を元気にすることにつながります

ボランティア精神にあふれる市民・住民は「人財」

そのスキルは

「地域」や「人」を良くすることにつながります

つなぎ、ささえあい、共に創る、

市民が関わる仙台・宮城のスポーツ

ご清聴

ありがとうございました

疑問・質問があれば遠慮なくメールをお送り下さい
izumita@dm.mbn.or.jp